

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	倫理	担当教員	伊藤隆博			
学年学科	2 年 全学科	開講時間数	通年 2 時間	必修	単位数	2 単位
学習・教育 目標	(A-1) 100%			JABEE 基準 1 (1) (a) 50%、(f) 50%		
授業の目標と期待される効果： われわれは人生の日々のなかで、さまざまな問いを自らに投げかけ、悩みながら生きている。その際、有益な示唆を与えてくれるのは、先人たちが残してくれた数多の言葉である。倫理の授業では、古今東西の思想家たちを取り上げ、彼らがたどった軌跡、ならびに、彼らの思想の内容を学習する。1 年間の授業を通して、人間の生き方・あり方について、主体的に考える力を身につけていく。具体的な目標は以下の通り。 ① 人類の知的遺産について知識を広げる。 ② 異文化や多様な価値観への理解・関心を深める。 ③ 社会的諸問題に対する倫理的判断力を養成する。		成績評価の方法： 以下の総得点 600 点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 100 点 達成度評価の基準： 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 ① 人類の知的遺産について正しい知識を習得したか。 ② 異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 ③ 社会的諸問題に対し論理的に考え、倫理的な判断を下す力が身についたか。				
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書・図説（資料集）を使用した講義形式で行なう。授業では、多くの思想家を取り上げ、彼らの思想のエッセンスを説明していく。自分が興味・関心を抱いた思想家については、ぜひとも実際にそのテキストにあたってみよう（彼らのテキストは、多くの場合、文庫本などで手軽に手に入れることができる）。						
教科書および参考書： 『倫理』（東京書籍）を教科書とし、『新編アプローチ倫理資料』（とうほう）を副教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：導入						
第 2 回：古代ギリシア思想（1）						
第 3 回：古代ギリシア思想（2）						
第 4 回：古代ギリシア思想（3）						
第 5 回：ユダヤ教とキリスト教（1）						
第 6 回：ユダヤ教とキリスト教（2）						
第 7 回：イスラーム教						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：古代インドの思想						
第 10 回：古代中国の思想（1）						
第 11 回：古代中国の思想（2）						
第 12 回：古代日本の思想						
第 13 回：日本仏教（1）						
第 14 回：日本仏教（2）						
第 15 回：江戸の思想（1）						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期
第17回：江戸の思想（2）
第18回：明治の思想（1）
第19回：明治の思想（2）
第20回：ルネサンス
第21回：宗教改革
第22回：合理論と経験論
第23回：社会契約説
第24回：中間試験
第25回：啓蒙思想
第26回：ドイツ観念論
第27回：功利主義
第28回：社会主義
第29回：実存主義
第30回：現代のヒューマニズム
第31回：「私」とは何か？
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）